

# 普通会計純資産変動計算書

## 1. 基本事項

純資産変動計算書は、当該年度の貸借対照表及び前年度貸借対照表に計上した値、行政コスト計算書にて算定した値、決算統計に記載された額を元に、純資産の変動を計算するため、基本事項は貸借対照表及び行政コスト計算書に準じます。

## 2. 概要

計算書の様式は下図の通りです。横項目は貸借対照表に計上した純資産の各項目を示し、縦項目はその純資産の項目を増減させる要因について示しています。

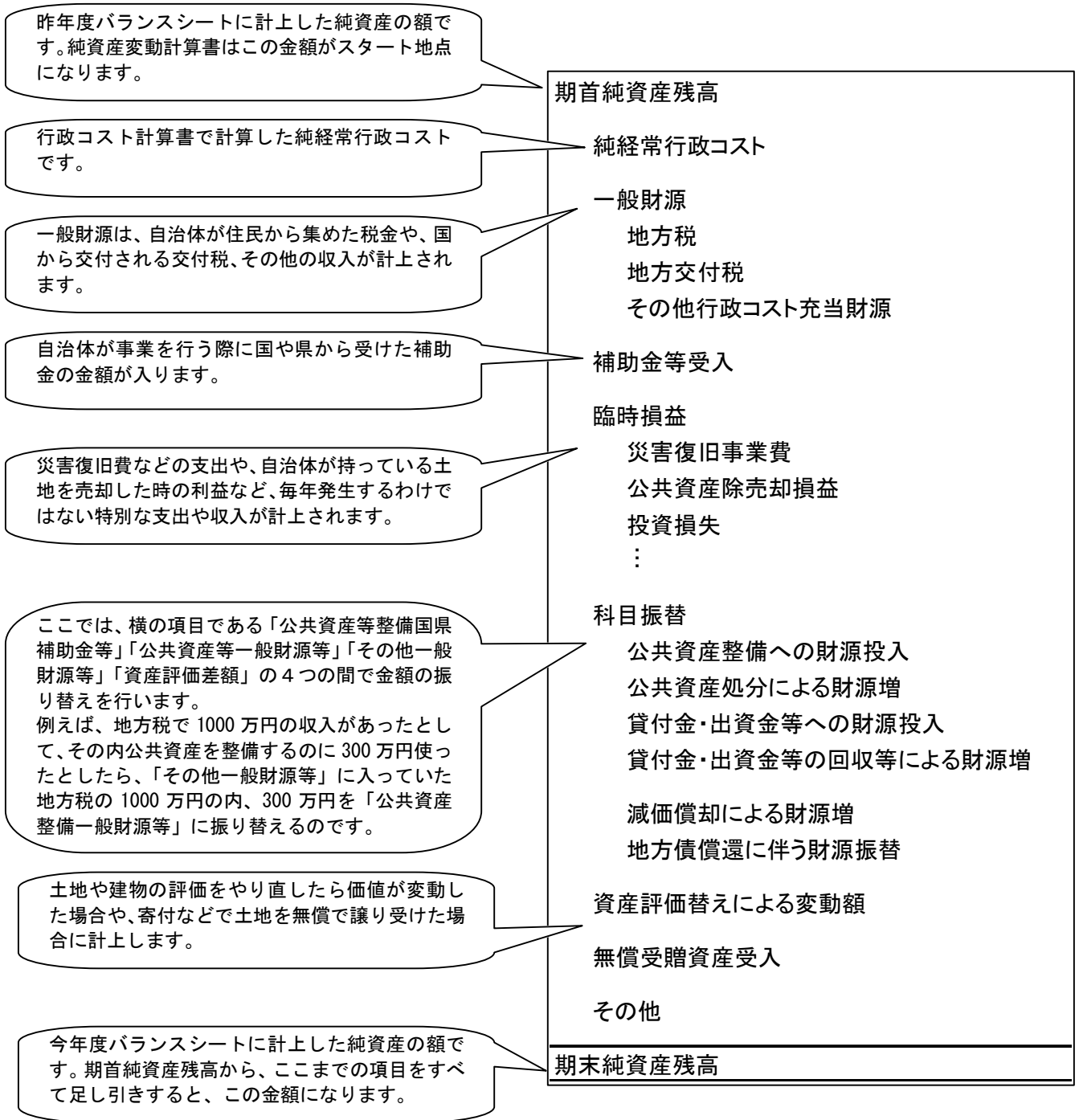
### 純資産変動計算書

自 平成〇〇年4月1日  
至 平成〇〇年3月31日

(単位:千円)

	純資産合計	公共資産等整備 国県補助金等	公共資産等整備 一般財源等	その他 一般財源等	資産評価差額
期首純資産残高	0				
純経常行政コスト	0				
一般財源	0				
地方税	0				
地方交付税	0				
その他行政コスト充当財源	0				
補助金等受入	0				
臨時損益	0				
災害復旧事業費	0				
公共資産除売却損益	0				
投資損失	0				
:					
科目振替					
公共資産整備への財源投入				0	
公共資産処分による財源増				0	
貸付金・出資金等への財源投入				0	
貸付金・出資金等の回収等による財源増				0	
減価償却による財源増				0	
地方債償還に伴う財源振替				0	
資産評価替えによる変動額	0				
無償受贈資産受入	0				
その他	0			0	
期末純資産残高	0	0	0	0	0

純資産変動計算書の概要は次の通りです。



## **I. 期首純資産残高**

当該年度期首に存在している純資産の残高を示します。

## **II. 純経常行政コスト**

経費的支出である行政コストと、その財源となったものを差引して求められた純経常行政コストをさします。

## **III. 一般財源**

決算統計に記載されている当該年度の一般財源に該当する額をそれぞれ記入します。ここで計上する一般財源には、地方税、地方交付税、その他行政コスト充当財源が存在します。

## **IV. 補助金等受入**

資産形成に充てられた国庫支出金及び都道府県支出金の合計額が該当します。

## **V. 臨時損益**

臨時的に発生した損益を計上します。

## **VI. 科目振替**

これまでに計上した額について、実際の充当元に正しく計上されるように列ごとの値を調整する項目です。

## **VII. 資産評価替えによる変動額**

新規に売却可能資産を計上した場合、もしくは資産評価替えを行って売却可能資産の時価に変動があった場合に計上します。

## **VIII. 無償受贈資産受入**

資産を無償で贈与、もしくは受領した場合の資産変動額を計上します。

## **IX. その他**

上記以外に純資産の変動に関与する額を計上します。